

## 《インターネットに関する事件(11月)》

北海道教育委員会

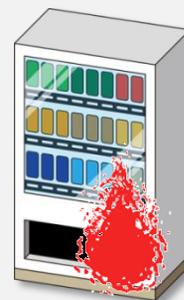
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

### 実際の事件の例

11月に起こったインターネットに関する事件の中から、以下の事例を参考に、インターネット上で起こりうるトラブルについて考えてみましょう。

#### 《事例》

高校1年生の男子4人が、自動販売機の釣り銭口に火をつけ、釣り銭のケースを溶かして小銭を盗んだとして、器物損壊と窃盗の疑いで逮捕された。生徒たちは動画投稿サイトで盗む方法を知り、犯行の直前にもスマートフォンでその方法を確認していたという。同月内には同様の容疑で小学6年生の男児が補導される事件も発生した。



### インターネット上の情報

インターネット上には不適切な行為を助長する様々な情報が存在していますが、その中でも事例のような動画サイトは、小中学生の利用者も多く、情報の善悪、真偽が判断できない年齢の場合、興味本位で試してしまう危険性があります。

インターネット上の情報には、社会のルールやモラルとして許されないものが多く含まれていることを理解させることが必要です。

### 「裏技」の投稿

事例のような情報は「裏技」としてインターネット上に公開されています。有名な動画サイトでも、違法ダウンロードの方法やピッキング（鍵開け）の方法などを、簡単に視聴することができます。自動販売機に関するものでは、〈お金を入れずに飲料を得るために特定の操作をする〉といった内容のものもあり、小中学生が撮影したと思われる、実際にそれを試している動画を見つけることもできます。

違法行為を行うこと自体が犯罪となりますが、その内容を投稿することで、さらにトラブルを拡大させる恐れがあります。



※画像はイメージです

### 指導の要点

本来、インターネット上の情報の善悪、真偽は見る側が判断しなければいけません。それがまだ難しい年齢の子どもには、興味本位で情報に触れないことや、安易に真似をしてはいけない内容の動画があること、それが原因で実際に逮捕される人もいることをしっかり指導する必要があります。